

ブラジルインフラ入門& P P I セミナー 大久保所長ご挨拶 (案)

只今、ご紹介に預かりました、サンパウロ事務所の所長の大久保でございます。本日は、お忙しい中、当所主催のインフラセミナーにお集まり頂き、誠に有難うございます。セミナー開催に当たりまして、主催者として、一言ご挨拶させていただきます。

皆様、ご承知のように、ブラジル経済は、中国経済の低迷やペトロブラス関連の汚職、さらに原油価格の低下などで多大な影響を受け、このことは、ジウマ・P T 政権崩壊、テメル新政権発足に繋がった訳でございます。新政権においても、汚職問題は相変わらず燻っている状況ではありますが、一方では、昨年12月には財政支出抑制法案が可決され、さらに今年は社会保障制度改革法案が成立する見込みも高く、更なる財政改革の進展が期待されております。

そのような中、新テメル政権は、財政改革とともに、インフラ投資の活性化に力を入れており、昨年は、インフラの事業の更なる民営活性化を目的に、P P I (Programa de Parcerias de Investimentos) 制度を創設し、交通運輸(空港、港湾、鉄道、道路)、エネルギー、上下水道などの分野において、30件を超えるプロジェクト案件を発表したところです。

ブラジルの経済の強みは、やはり農業及び資源であり、弱みは、その強みを十分に活かすための効率的かつ高性能のインフラが未整備であることかと思えます。このため、ブラジル政府は、特に高いインフラ技術を持つ日本に期待しており、昨年10月のテメル大統領訪日では、日本のインフラ投資の申入れとともに、日本政府とインフラ関係の協力協定を締結したところです。

このような状況を踏まえ、ジェトロとしても、今後もブラジルのインフラ関係の動向に高い関心を持つとともに、日本・日系企業の方々に、ブラジルのインフラ関係のビジネス把握の機会を提供できればと思い、このたび、日頃から当事務所の事業のご支援頂いている佐藤弁護士のご協力とともに、商工会議所の多大なるご支援のもと、セミナーを開催させて頂いた次第です。

今回のセミナーが、少しでも皆様の今後のビジネスにお役に立てばと願うとともに、低迷しつつある日伯関係においての、新たなビジネスの嚆矢となればと願って止みません。

誠に簡単ですが、これを以て開会ご挨拶とさせていただきます。本日は宜しくお願い致します。